

京都大学多文化共学短期[派遣]留学プログラム
2025年度ウィーン大学スプリングプログラムのご案内

申込締切：2025年12月9日（火）正午

【日程】

2026年

2月28日（土）出国

3月1日（日）ウィーン着

3月2日（月）～3月13日（金）：講義・研修（於ウィーン大学）

3月14日（土）ウィーン発

3月15日（日）帰国

【プログラム概要】

本プログラムでは、オーストリアのウィーン大学において、ドイツ語の学習およびオーストリアの歴史、特に19世紀末の帝政時代から第一次世界大戦後の第一共和政（1920-30年代）の「栄光と挫折」に焦点を当てた学術講義や現地研修を実施します。オーストリア・ウィーンの言語、文化、社会、歴史等について知識を深めるとともに、高度な多文化理解を身につけます。

※本プログラムは全学共通科目キャリア形成科目群「多文化教養演習：見・聞・知@オーストリア」として、①短期留学への参加、②事前学習、③事後学習から成る授業として実施され、条件を満たした修了者には、全学共通科目として2単位が付与されます。KULASIS上での履修登録は不要です。

【募集詳細】

募集人数：最大15名

募集対象：京都大学に在籍する正規の学部生および正規の大学院生

応募条件：1) 多文化体験・多文化学習に意欲を持つ者

*ドイツ語を母語とする方は本プログラムへの応募はできません

2) 英語での講義、議論に参加できる語学能力を有すること

*目安としてIELTS 6.0、TOEFL iBT80、TOEFL ITP570 以上程度

【費用詳細】

参加費用：44万～46万円程度 ※参加者15名前後の場合

（内訳）

プログラム費用：840ユーロ程度（約14.9万円）

宿泊費：780ユーロ程度（約13.8万円）（ウィーン市内ホテル。複数名で一室利用）

往復航空券代：15-17万円程度（予定額。空港諸税・燃油費等含む）

※1€=177.1円（2025年11/6時点）で換算

※昨年度実績に基づいた予定額であり、為替レートの変動、参加人数等によって参加費用は多少の増減の可能性がります。参加人数が減れば、1人あたりの参加費用は増加します。

※プログラムを修了し、必要な手続きを期日までに完了した者には、本学から12万円の支援金を支給します。このほかに、京都大学アジア研究ユニット（KUASU）より1～2万円の補助が付きます。

※最終決定通知後に参加を取りやめる場合、キャンセル料が発生します。

その他の費用：上記参加費用の他に、自宅から空港までの交通費、現地での交通費、食費、個人的な諸費用、大学が定める海外留学保険加入費用(全員必須、治療・救援費用無制限)が生じます。

【応募の手順】

(1) オンラインによる申請（応募者基本情報）および (2) Google フォーム（渡航にあたっての聞き取り事項）への回答後、(3) の書類を窓口へ提出してください。

(1)オンライン申請について

下記 URL、ID、パスワードによりログインし、必要事項を入力。さらに以下2点をアップロードする。

- ・顔写真データ（6か月以内撮影、正面を向いたもの、無地の背景（壁など）の前で撮影したもの、正式な証明写真である必要はない。サイズの指定なし。）
- ・1 回生の時に本学で受験した TOEFL ITP のスコアが表示されている KULASIS 画面のスクリーンショット（名前とスコアが両方確認できる状態）

※新1回生で TOEFL ITP の結果が出ていない方、院生等で、本学で TOEFL ITP を受験していない方などは提出不要です。

※アップロードする TOEFL ITP のスコアを、申請フォームの「2.語学力>その他の検定」欄に記載ください。

※TOEFL ITP 以外の英語能力検定試験（TOEFL iBT、IELTS など）のスコアをお持ちの方は、申請フォームの該当欄に記載ください。

完了後に出力される参加申込書を印刷して署名の上、その他書類とともに窓口へ提出してください。

<オンライン申請画面URL>

<https://area34.smp.ne.jp/area/p/nita0mjmel1pepbt9/hbbQ7J/login.html>

ログイン ID: tankihaken_1704

ログイン PW: N9St1K

※http の後ろに必ず、s があることを確認してください。

(2)Google フォーム(渡航にあたっての聞き取り事項)について

次の URL より回答してください。なお、緊急連絡先は必ず親族にすること。

<https://forms.gle/CazmiTVpPCoV5CW19>

(3)以下の a~g の書類を国際教育交流課窓口へ提出する

- 参加申込書(オンライン申請後に印刷し、自署したもの)
- 学業成績証明書（現在在籍する課程のもの。成績表ではなく、証明書自動発行機等で発行した「学業成績証明書」を提出すること。）
- TOEFL ITP 以外の英語能力検定試験（TOEFL iBT、IELTS など）のスコアをお持ちの方は、当該試験のスコア証明書の写し（試験の種類、有効期限は問いません。）
- 志望動機書（書式自由、所属・学年・氏名・あればドイツ語学習歴を明記のこと、A4 1枚程度）
- 海外留学誓約書（本人及び親族の署名入り。親族が遠方在住の場合、親族の署名は電子でも可。）

f. パスポートの顔写真ページのコピー

(有効期限は入国時6ヶ月以上必要。未取得者はその旨申し出、早急に取得)

g. 提出物チェックリスト

※e,gの様式は次のURLよりダウンロードしてください。

<https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/emZpA45Zltqn3-GLAsAssyCJzzCevIAiHvezbnCkV04D>

書類提出先：学務部国際教育交流課海外留学掛

吉田南構内 国際高等教育棟 2階 国際教育交流課 内

申込締切：2025年12月9日(火) 正午

【選考】

1次審査(書類審査)および2次審査(面接)により行う。

【説明会】※スペインのプログラムと合同

日時：2025年11月13日(木) 12:10~13:00

会場：吉田南構内 国際高等教育院棟 3階 講義室32

後日希望者には録画を提供します。

【選考とその後のスケジュール】

全て出席必須。公的事情による欠席等については応相談。

内容	スケジュール	形式
<u>面接(1人10分程度)</u>	2025年12月15日(月) 18:30-19:30 2025年12月16日(火) 16:45-18:15 2025年12月17日(水) 16:45-18:15 吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 講義室の詳細は面接日時通知メールにて連絡。	対面
最終結果通知	2025年12月22日(月)	-
<u>合格者オリエンテーション</u>	2026年1月9日(金) 12:15-13:00 ※吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 教室場所は後日通知	対面
<u>海外渡航安全説明会</u>	2025年12月24日(水) 12:10-12:50 ※Zoomでの当日参加または録画視聴	Zoom
<u>事前語学授業(10時間)</u>	2026年2月16日(月) 10:30-12:00 2026年2月17日(火) 10:30-12:00 2026年2月18日(水) 10:30-12:00 2026年2月19日(木) 10:30-12:00 2026年2月20日(金) 10:30-12:00 吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 講義室の詳細は後日連絡。	対面
<u>共同セミナー発表準備(4時間)</u>	1回目：2026年2月16日(月) 15:30-17:00	対面

	2回目：2026年2月20日（金）13：15-14：45 吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 講義室の詳細は後日連絡。	
--	--	--

【備考】

- ・本プログラムは以下の機関・事業により援助を受けて行われます。
 - (1)京都大学アジア研究教育ユニットによる支援
 - (2)京都大学全学事業実施経費による支援
- ・ドイツ語未修者も歓迎しますが、全学共通科目「ドイツ語」等の関連科目を受講済みであること、あるいは並行受講していることを強く推奨します。
- ・各自の予定等を十分に確認のうえ、授業や研究活動、他のプログラム等とのスケジュールに重複がなく、全日程確実に参加が可能な場合に応募を検討してください。
- ・同時期に実施される他プログラムとの併願は認めません。
- ・自然災害等その他の事由により、プログラムが中止になることがあります。
- ・本プログラムでは、指定の海外旅行保険(学研災付帯海学留学保険)に加入すること、参加者全員が同一のフライトで渡航・帰国することが求められます。フライト手配は大学でまとめて行います。個人手配や、個人の都合による指定以外のフライトの利用は認められません。
- ・本プログラムに引率者は付きません。留学期間中は、本学学生の代表として責任ある行動及び自己管理を徹底してください。
- ・航空券・ビザの手配、オーストリア国内の移動については追って指示します。
- ・国際高等教育院附属 日本語・日本文化教育センター提供の全学共通科目「日本語・日本文化演習」を受講した上での参加を推奨しています。
- ・京都大学多文化共学短期「派遣」留学プログラムを通じて取得した個人情報（プログラム中の写真・動画等を含む）・応募動機・プレゼンテーション資料・最終レポートは以下に利用する可能性がありますので、ご了承ください。
 1. プログラム運営に関する業務
 2. 学術・研究を目的とする調査
 3. 本学のウェブサイトや報告書等の広報媒体
 4. 協力企業/団体の公式媒体

【本件照会先】国際高等教育院 河合 淳子

国際高等教育院 若松 文貴

国際高等教育院 韓 立友

学務部国際教育交流課海外留学掛

ryuga-east.asia@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp(短期留学プログラム代表アドレス)